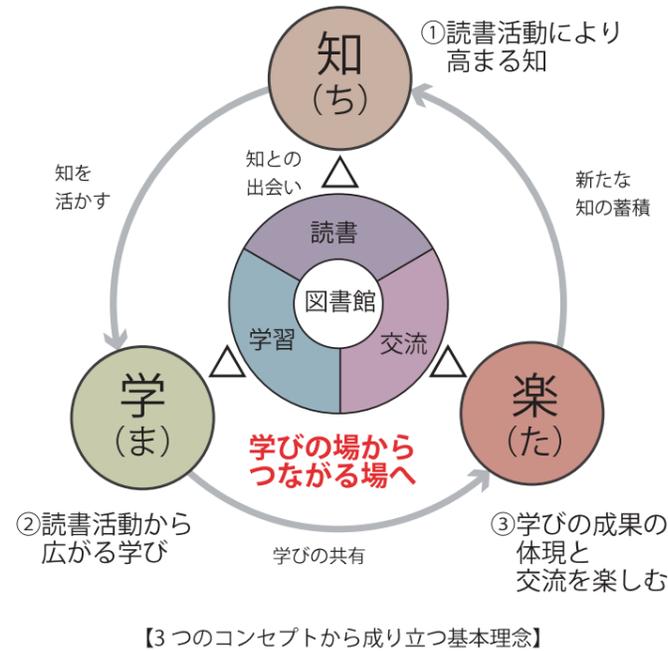


亀山市立図書館郷土資料コーナー等展示設計業務委託 展示設計について

■図書館の基本理念



亀山市立図書館整備基本計画より

「学びの場からつながる場へ」

～知る(ち)・学ぶ(ま)・楽しむ(た)～

「ち・ま・た」とは、古代において道の分岐・交差点を意味する「衢」(ちまた)にもつながり、古来より交通の要衝として栄え、街道文化が開いた亀山の地で、様々な情報が集まり、その情報をもとに人と人が語り、新たな地平が広がる場をイメージするものです。

3つのコンセプトは、一人一人の読書活動による知との出会いによって触発されて、深い学びへと広がりを見せます。また深められた学びによって高められた知を何らかのカタチで活かしていきたいとの思いが高まります。さらに、その発想の場として様々な交流活動が生まれます。そして、交流活動によって生み出された新たな知は亀山市の文化として蓄積され、次なる学びへと結びついていきます。

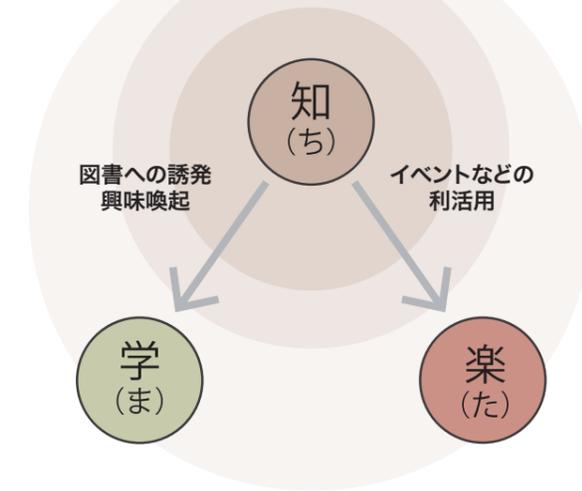
この知をめぐる学びのサイクルが、学びの場からつながる場の具体像となります。

■郷土資料コーナーの位置づけ

基本方針：知との出会いとその蓄積の場の創出

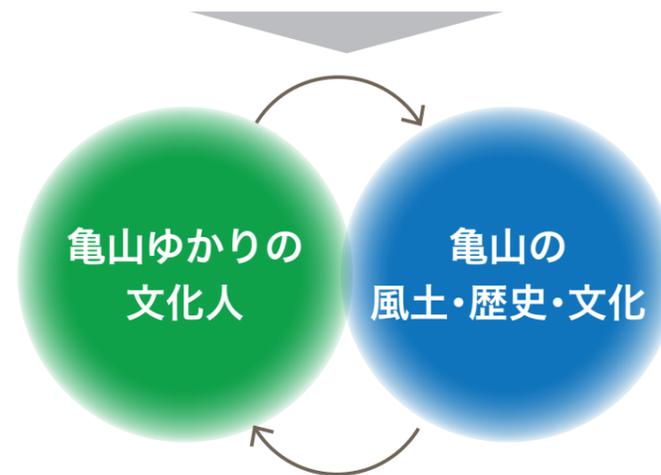
機能：地域情報・文化発信

「知との出会い」というコンセプトで、単にふるさとを紹介するというのではなく、図書館の中にある展示コーナーとして、図書館とのつながりや自らの学びを刺激し促すしかけ、さらには市民が楽しめるアクティビティでの活用が求められています。



■展示コンセプト

ゆかりの文化人
亀山とゆかりのある人物の
活躍に触れる



亀山文化
人・モノ・情報が行き交い
発展してきた街道文化

亀山文化情報プラザ

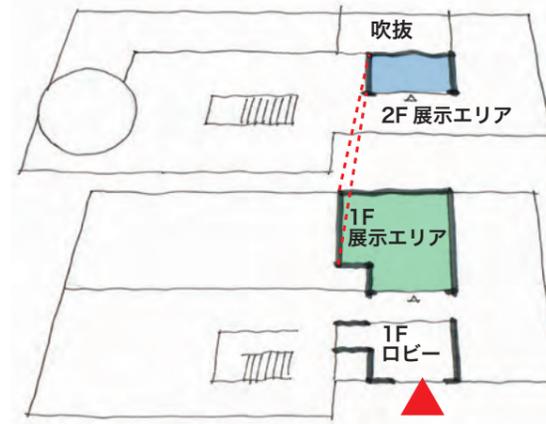
新しい文化や情報との出会いで育まれてきた
亀山にゆかりのある人物たちと、その人物を育んだ亀山の風土・歴史・文化を発見することで
知への出会い(=きっかけ)を創出する文化発信拠点

■展示ストーリー

亀山文化情報プラザの展示の役割は知（＝本・情報）へつながることと捉え、
展示体験から本・読書へ興味喚起するストーリー展開を考えます。

1F 空間の方向性

亀山市ゆかりの文化人と関連書籍を紹介し、読書活動につなげる
展示空間とします。また、特別な芸術活動を行う「場」として
地域の誇りとなる図書館を目指します。



2F 空間の方向性

亀山の歴史、文化、産業、自然などあらゆるトピックスと
本を「つなげる」空間とし、図書館での自発的な学びの
きっかけを生む場所とします。

1 階

出会う

亀山出身者や亀山にゆかりのある人物には文化・芸術に関連する文化人が多く、
あまり知られていない郷土ゆかりの人物を再発見するとともに「本」という媒体に導いていく。



導入・意識誘発

亀山文化のバックボーンとな
る歴史を知ることで、郷土へ
の気づきを得ます。

興味・関心高揚

亀山市にゆかりの深いさまざ
まな文化人を紹介することで、
郷土への発見につながる
興味・関心を高揚します。

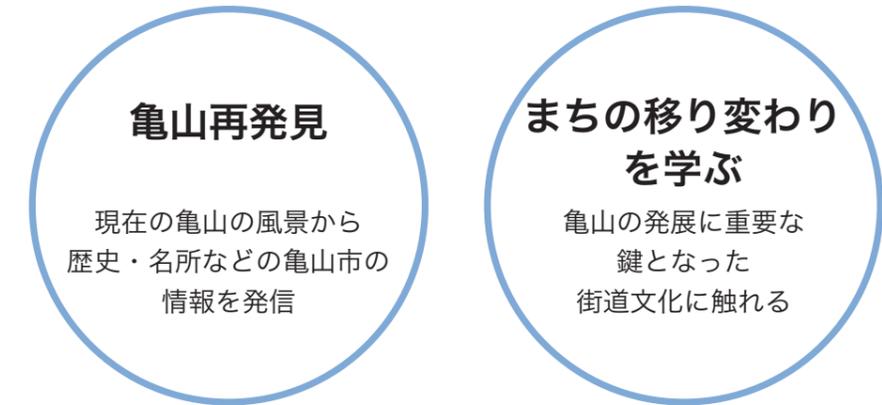
理解・納得促進

人物についてさらに深掘りする
ための書籍を紹介。
それらの人物たちを育んだ
亀山の文化への学びと理解を
促進します。

2 階

深める

現在の亀山からわかる歴史・文化・産業などの亀山文化をかたちづくるもの
を深掘りし、さらなる郷土への興味喚起をおこなう。



興味・関心高揚

今の亀山を知ることで
街への興味、関心を高め、
文化、風土を学ぶきっかけを
作ります。

理解・納得促進

古来より「道」とともに発展して
きたまちの変遷に触れることで
郷土の成り立ちを理解し、
新たな学びへとつながります。

4. 亀山ゆかりの文学作家

亀山にゆかりのある、著名な文学作家を紹介します。

- ・文化人の言葉、本の中の亀山
- ・略歴・受賞歴
- ・亀山との関わり
- ・関連書籍

<p>志賀直哉 母が旧亀山藩士の生まれ。代表作「暗夜行路」に亀山の情景が描かれている</p> <p>江戸川乱歩 幼少期亀山で過ごした日本を代表する推理小説家</p>	<p>坂口安吾 代表作「桜の森の満開の下」は鈴鹿峠を舞台としている</p>
----------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------

3. 彫刻作品

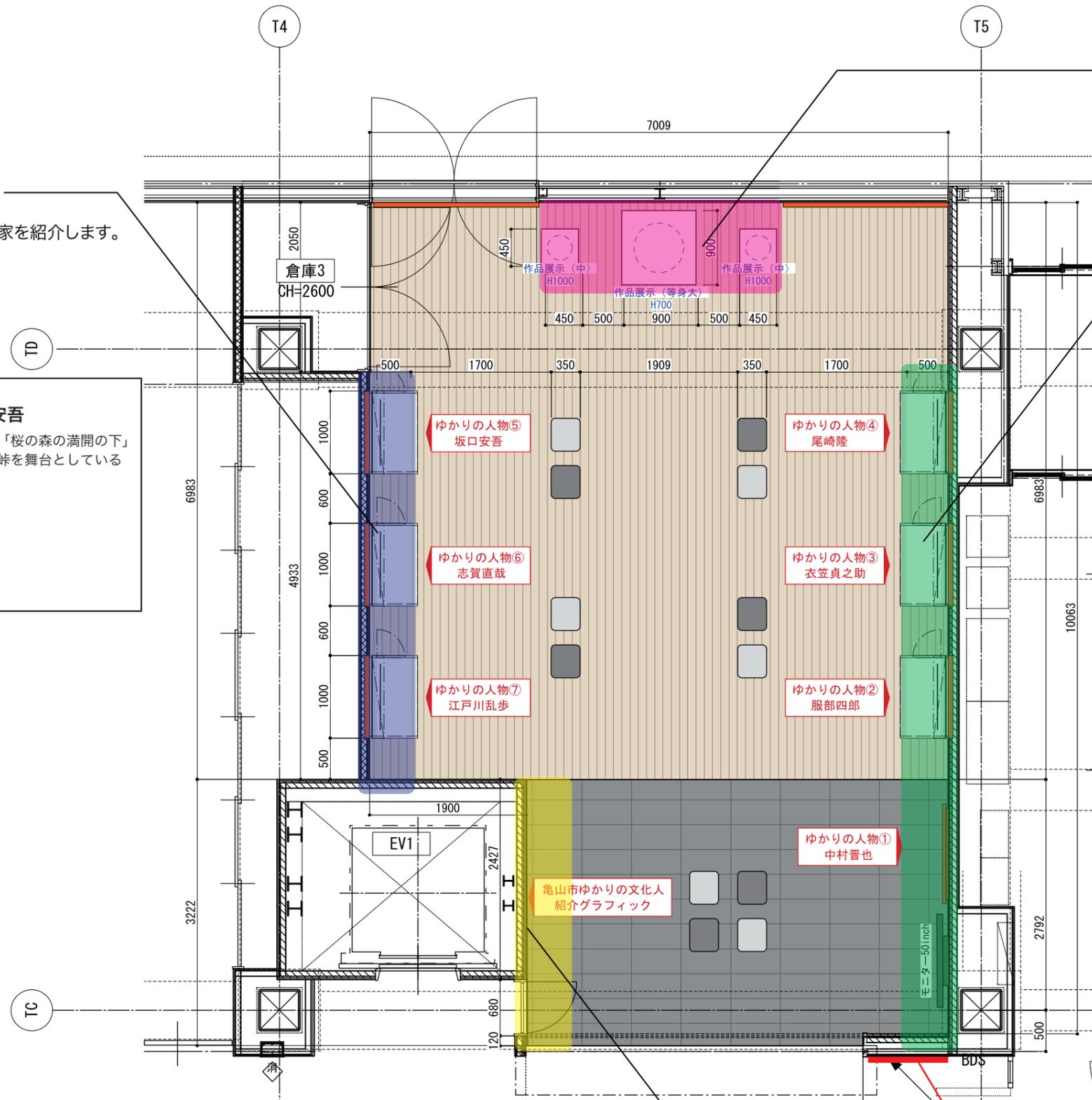
彫刻家・中村晋也氏は実物資料として作品を展示。作品にかかる想いを知ったあとに、実際に作品を鑑賞してもらいます。

2. 亀山出身の文化人

文化勲章受章者である中村晋也氏、服部四郎氏をはじめ、亀山市出身の人物を紹介します。

- ・文化人の言葉、ふるさとへの言葉
- ・略歴・受賞歴
- ・亀山との関わり
- ・関連資料

<p>服部四郎 文化勲章を受章した世界的言語学者</p> <p>尾崎隆 世界 8000m峰 14 座のうち 7 座に登頂した世界的アルピニスト</p>	<p>衣笠貞之助 日本人初カンヌ国際映画祭グランプリを受賞した映画監督</p> <p>中村晋也 文化勲章を受章した彫刻家 亀山市名誉市民</p>
---------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------



1. コーナーガイド

・多彩な文化人・功績者を育んだ亀山

コーナーサイン

窓のように切り取られた空間で、コーナー全体へ誘引します。



彫刻作品

額縁のような手前の空間から、奥に中村晋也氏による彫刻作品を望める。

紹介映像

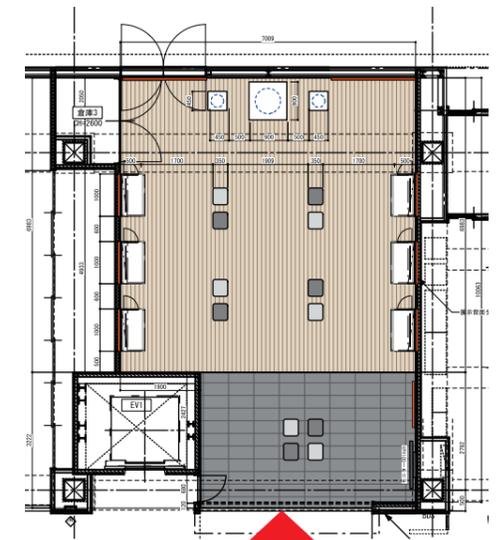
亀山市公式YouTubeで配信されている「生涯現役の彫刻家 中村晋也」をダイジェストに再編集したものを待機映像として放映。
その功績やふるさと亀山への想いを紹介します。また、市広報番組や市民撮影による四季折々の風物など、亀山市の今を紹介します。

1. コーナーガイダンス

古代から現在に至るまで交通の要衝として発展してきた亀山。その文化と自然の中で輩出された文化人や亀山にゆかりのある文学作家について紹介します。中の展示空間への導入として来館者を誘引します。

2. 亀山出身の文化人

入り口部分では、文化勲章受章者で名誉市民でもある中村晋也氏を紹介。



吹抜け空間を活かした巨大バナーグラフィックで言葉から文化人を印象付けます。



作家の言葉、本の中の亀山

著作の中に描かれた美しい亀山の風景や、作家が残した言葉などを印象的に見せます。

作品展示の両側にバナーを設け、搬入口を目立ちづらくします。

文化人の言葉、ふるさとへの言葉

文化人がその生涯で遺した言葉や、本の一節を引用し、印象的に見せる。その人の生涯や功績、著作についての興味を喚起します。

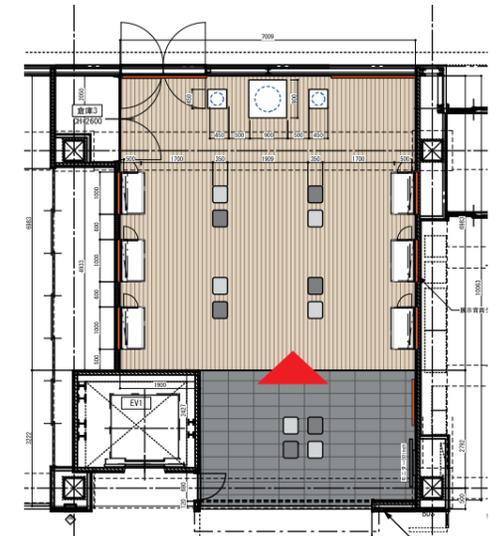
略歴・受賞歴

亀山との関わり

どこで生まれ育ち、どのような生涯を送ったか、その人となり、また故郷に対する想いなどを紹介します。

関連資料

その人にゆかりのある品や、当時使われていた道具、また愛用品などを展示。実際にものを目にする事で、人物を身近に感じてもらいます。



3. 亀山ゆかりの文学作家

亀山にゆかりのある文学作家を紹介。著作の中に描かれた亀山の姿や、亀山との関わり、資料、作品などについて紹介し、開架コーナーへの誘因のきっかけとします。

2. 亀山出身の文化人

亀山市の風土が輩出した文化人を紹介し、亀山市の文化と自然の多様性が織りなす郷土への誇りを醸成します。

書架やテーブルを置いて日常的な読書スペースとした場合



書架やテーブルなどを置いて読書スペースとしたり、常設展示は全て可動のため、全て移動させて企画展示などを催すこともできます。

開催イベントのイメージ

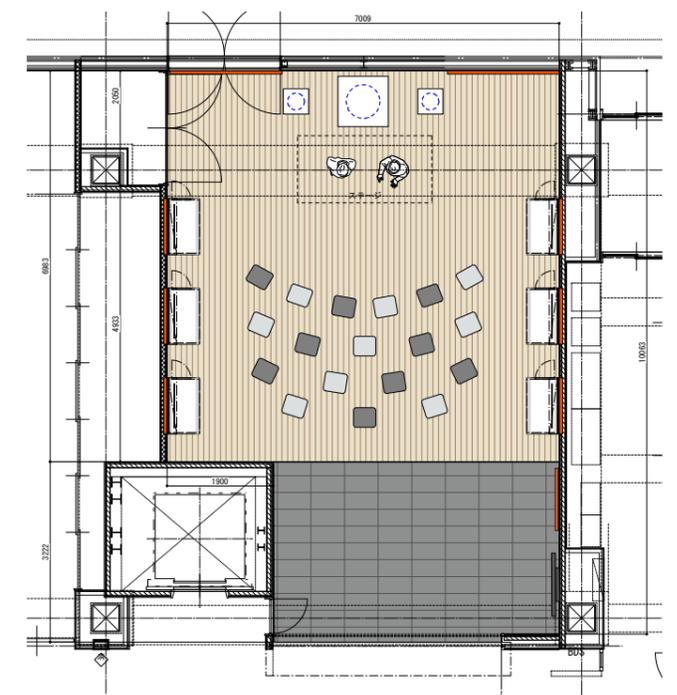
ここでイベントを行うことが市民のステータスとなるような、小規模でも少し特別感のある空間とし、市民が参加できる様々なイベントを開催する。

- イベント例
- ・ミニコンサート
 - ・朗読会
 - ・芸術作品の展示
 - ・トークイベント
 - ・映画上映会
 - など

企画展示

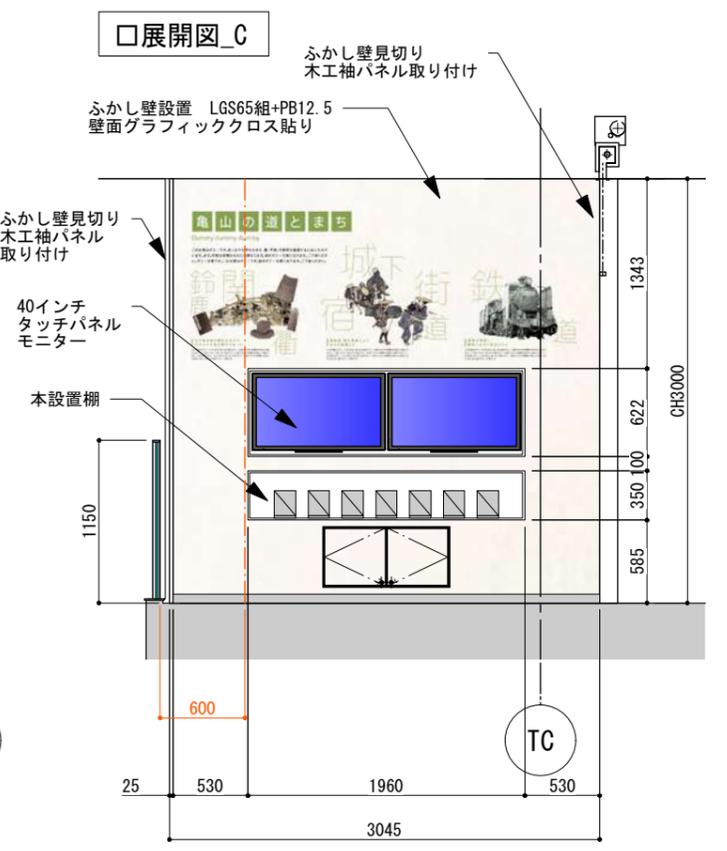
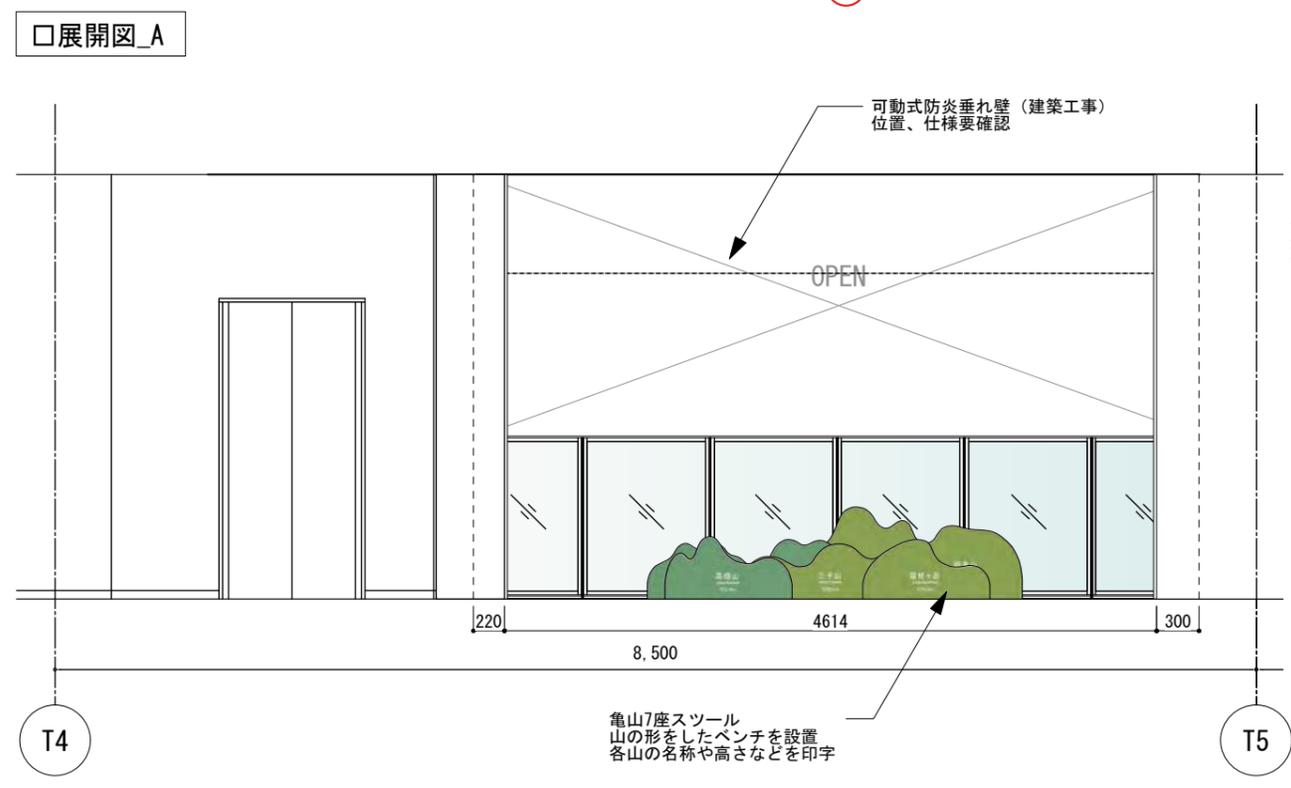
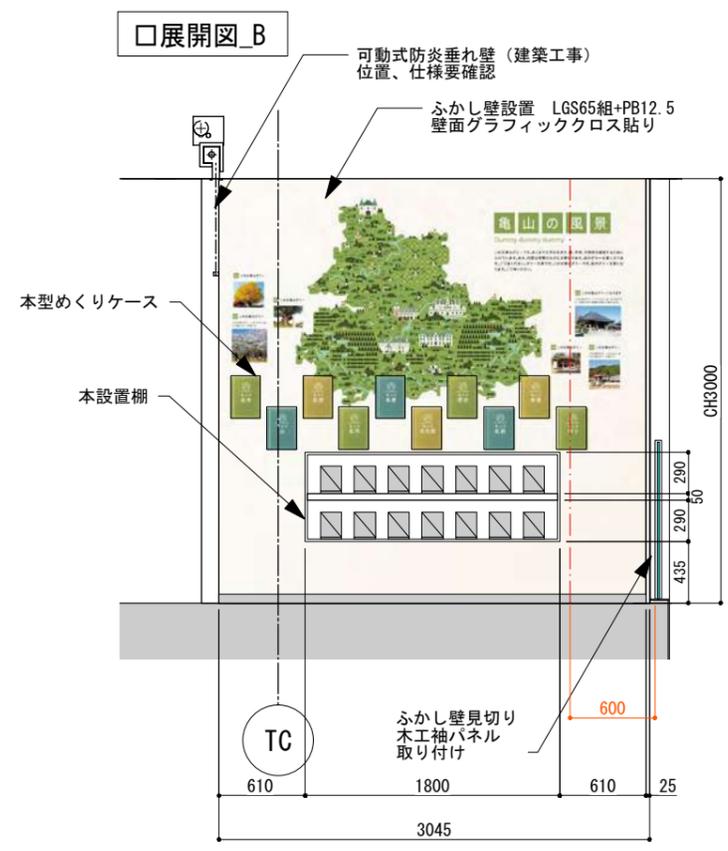
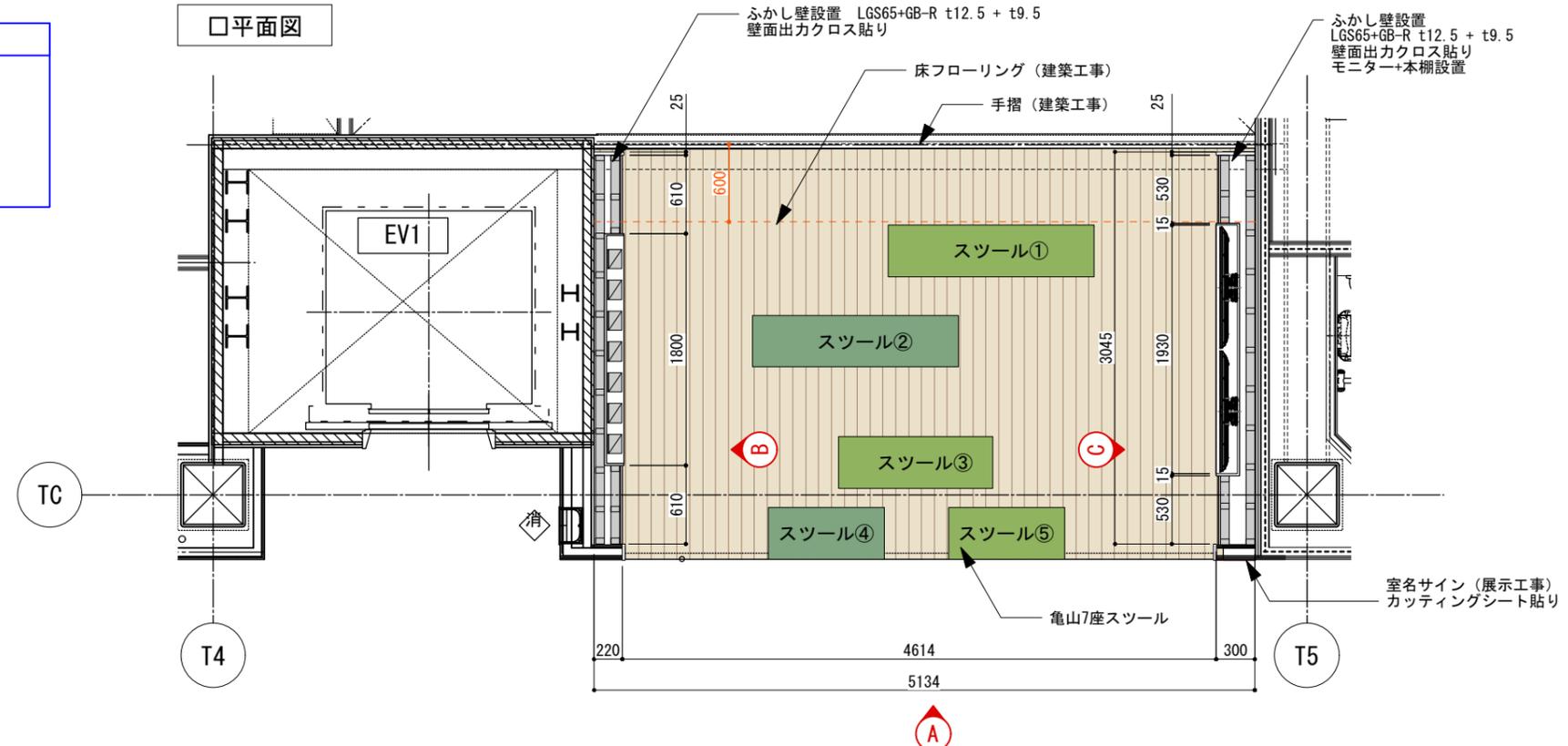


イベント利用



郷土資料コーナー2 CH3000

床：フローリング仕上げ（建築工事）
 巾木：ビニル巾木（展示工事）
 壁：LGS65組+GR-R t12.5
 出カクロス貼り仕上げ（展示工事）
 天井：天井：GB-R t12.5 + DR t9.5（建築工事）



亀山について学びながら、本を結ぶきっかけをつくる展示空間とします。



亀山の風景

現在の亀山にある様々な場所・コトをマップグラフィックで紹介します。

亀山のひみつ本

開ける本型ケースで亀山に関する様々な情報を紹介し、さらに下段の関連図書資料で、自らの学びへの展開につなげます。

2. 亀山の道とまち

古代から現在に至るまで東西日本をつなぐ交通の要衝として発展してきた亀山の道と、それによって変化してきたまちに関する情報を紹介。基本情報、クイズ、図書資料の3段構造で新たな知恵の扉を開きます。

Q&A亀山への道

亀山の道に関する3つのトピックについてQ&A形式で学べる。下段にヒントとなる書籍を配置し、本での学習効果を高めます。

1. 亀山の風景

現在の亀山の風景、懐かしい風景から亀山に関する様々なトピックを取り上げて紹介。マップには名所や観光地、主要な施設などがプロットされた基本情報、本型ケースでトピックを紹介します。

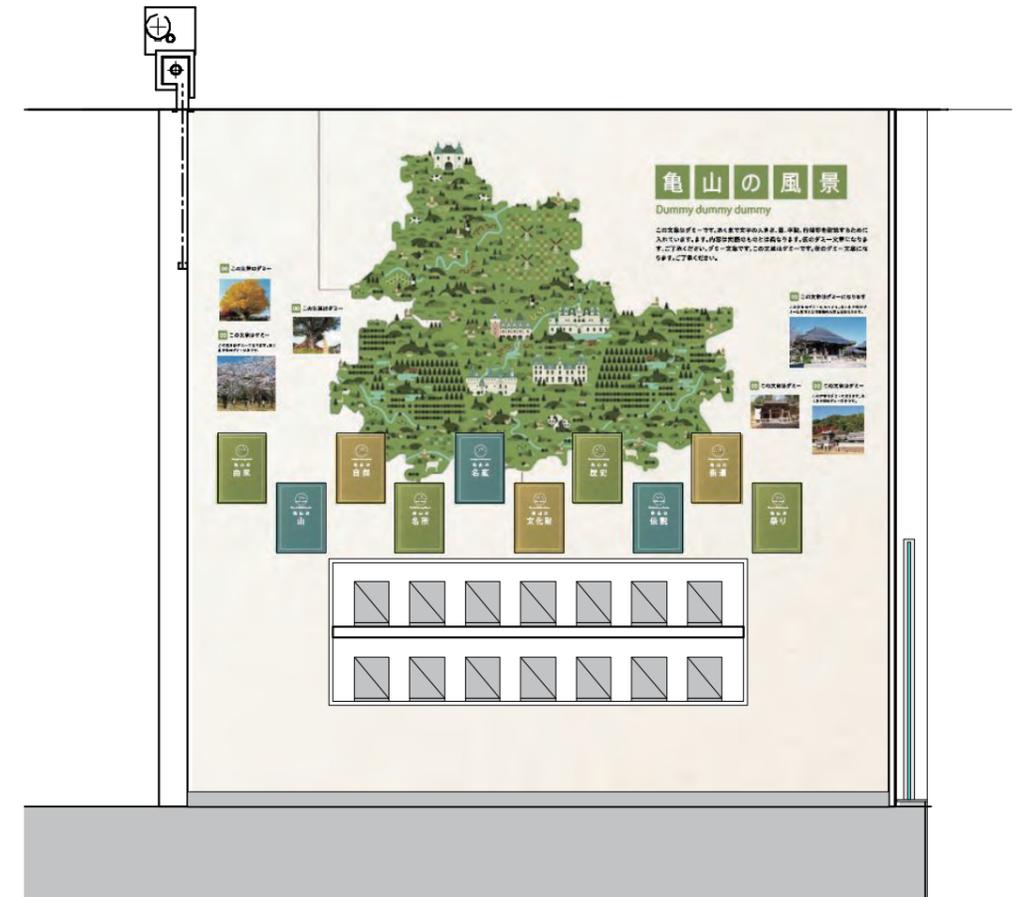
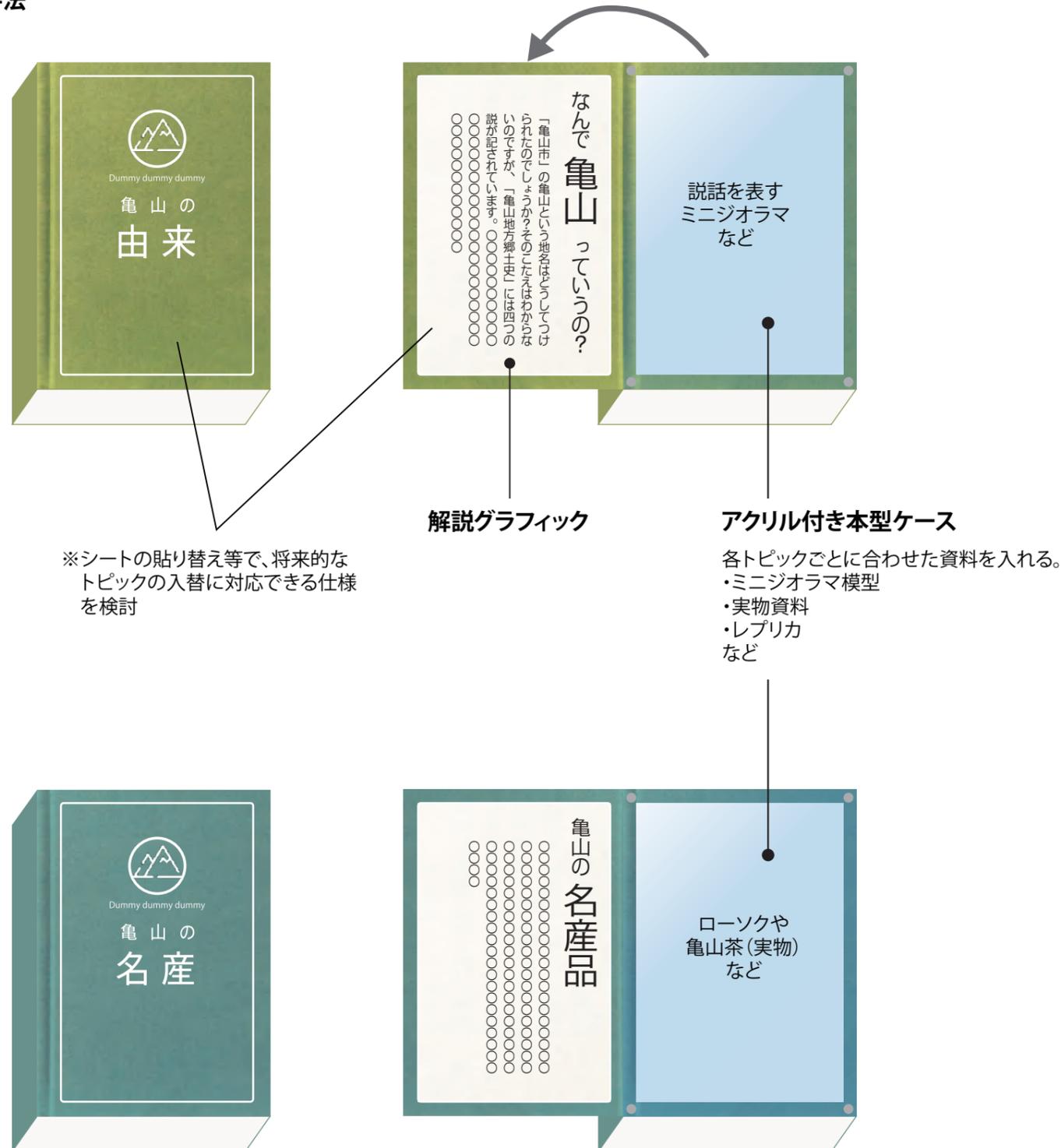
亀山7座スツール

亀山の風景の象徴ともいえる鈴鹿山脈を模したスツール。1階で紹介する世界的アルピニストである故尾崎隆氏が世界の8,000m級の14座のうち7座の登頂に成功したことを記念して定められた亀山7座の情報をプリントし楽しく学べるスツールとします。



亀山のひみつ本

■展示手法



トピック	内容	資料
由来	地名の由来	説話のミニジオラマ
山	鈴鹿山脈や亀山7座	山のミニジオラマ
自然	珍しい植物や動物	植物標本など
名所	観光名所 など	観光地のミニジオラマ
名産	名産品	名産品(実物)
文化財	文化財、史跡、名勝など	文化財資料の縮小模型
歴史	歴史	化石などのレプリカ
伝説	白鳥伝説	白鳥伝説のミニジオラマ
街道	東海道と3つの宿	東海道五十三次風ジオラマ
祭り	代表的な祭り	関の山車の縮小模型

Q&A亀山への道

■トピック

古代の道

～ヤマトタケル・鈴鹿関・和歌～
ヤマトタケルやオトタチバナヒメなど古代史の登場人物や事項と亀山の関わり、和歌に詠まれた亀山に関すること

中世・近世の道

～街道と宿・城下～
東海道、大和街道、巡見道の街道とそれぞれの宿、城と城下に関すること

近現代の道

～鉄道～
鉄道開通によるまちの転換と鉄道遺産
これからの交通に関すること

■遷移フローイメージ

①TOP画面



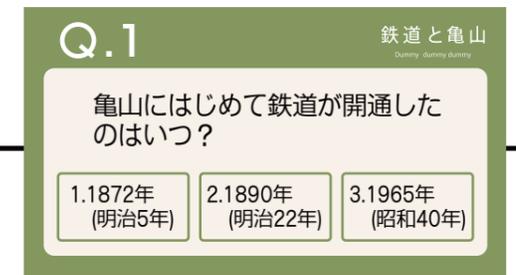
TOUCH
Q&Aを選択

②項目選択



TOUCH

③出題

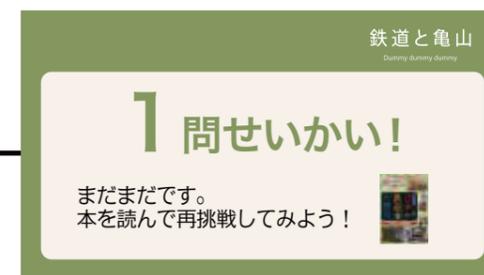


ランダムに5問程度出題

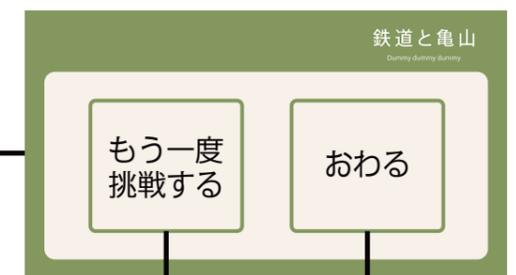
④解答・解説



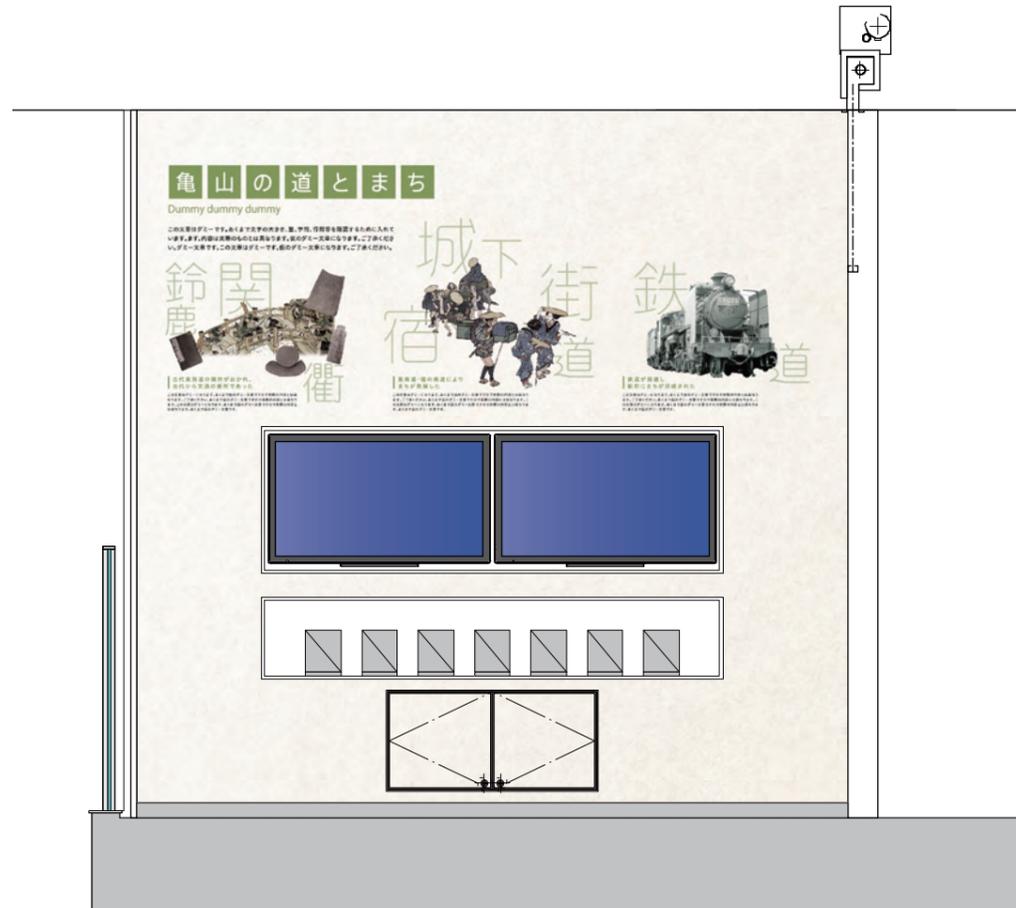
⑤評価



⑥選択画面



②項目選択へ ①TOP画面へ



※TOP画面→情報検索 機能も検討
亀山市史に関連したコンテンツ展開を想定
市史そのもののwebページだと見づらいため、
動画データ等、一部を抜粋して組み込む